文章検

2023年度

文章読解・作成能力検定

準２級Ｄ　検定問題

検定日：2024年２月11日(日)
検定時間：60分
開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。

＜注意事項＞

■受検について

1. 氏名、生年月日、会場名（団体名)、会場番号を、答案用紙のそれぞれの欄に大きく、丁寧に、はっきりと書いてください。
2. 検定開始後に問題冊子を開いて、問題の印刷が不鮮明な部分や、ページの落丁・乱丁などがあれば、手を挙げて監督者に知らせてください。
3. 問題冊子の余白は自由に利用してください。

■解答について

1. 答えはすべて答案用紙の解答欄に、ＨＢ以上の濃い鉛筆、またはシャープペンシルで記入またはマークしてください（ボールペンや万年筆などは使わないでください)。
2. マークはきれいにぬりつぶしてください。間違ってマークしたものは、鉛筆の黒いあとが残らないように消しゴムできれいに消してください。
3. 選択式問題では、問題文で指定された数だけ解答欄の記号をマークしてください。マークの数が指定された数と異なる場合は、採点の対象となりません。
4. 記述式問題で解答の行数が指定されているとき、行数が不足した場合または行数を超えた場合は、採点の対象となりません。
5. 答案用紙を破ったり、汚したりしないでください。
6. 提出する前に消しゴムのカスが残らないように払ってください。

漢検　公益財団法人 日本漢字能力検定協会　[不許複製]

年　組　番	
	氏名

第1問　次の問い（問1・問2）に答えなさい。　（30点）

問1　次の1～5の意味を表す語句、あるいは説明に合う語句として最も適切なものを、それぞれのア～エのうちから一つずつ選びなさい。

1　思いがけない動作や行動が、急に起こるようす。
ア　唐突　　イ　想定外　　ウ　意表　　エ　不測

2　時間や数量などが、まさにちょうどそうであるようす。
ア　あっさり　　イ　ぴったり　　ウ　じっくり　　エ　きっかり

3　非難してきたり抗議してきたりした人に対して、言葉で逆襲すること。
ア　冷や水をあびせる　　イ　瀬戸際に立たせる　　ウ　逆風にさらされる　　エ　逆ねじをくわせる

4　人やものが簡単に移動できて、さまざまな場所で支障なく活動できること。
ア　モビリティー　　イ　グローバリゼーション　　ウ　ユーティリティー　　エ　タイムトリップ

5　手のほどこしようがなく、どうやっても使いものにならない。
ア　開いた口がふさがらない　　イ　ありのはい出るすきもない
ウ　はしにも棒にもかからない　　エ　帯に短したすきに長し

問2　次の1～3の文には誤りがあります。それはどのような誤りですか。最も適切なものを、ア～エのうちから一つずつ選びなさい。

1　腹心の部下の裏切ったことを知ったリーダーは、はげしく怒りをこらえて、つとめて冷静に行動しようとしていた。

ア　「裏切った」の主語である「部下」に主語を表す助詞がついていないのが誤り。
イ　名詞「怒り」を修飾する「はげしく」が連用形になっているのが誤り。
ウ　副詞「つとめて」に呼応する表現が欠けているのが誤り。
エ　名詞「行動」を修飾する「冷静に」が連用形になっているのが誤り。

2　もうとっぷり日も暮れて、あたりがすっかり暗くなってしまい、右は左も見えなくなった。

ア　「暮れる」にかかる副詞「とっぷり」のあとに、助詞がついていないのが誤り。
イ　動作の主体ではない「あたり」に、主語を示す助詞がついているのが誤り。
ウ　「見えなくなった」理由である「暗くなってしまい」に、理由を示す表現がないのが誤り。
エ　「左も」と並列の関係にある「右」についている助詞が、並列を示すものでないのが誤り。

3　学校まで乗ってきた自転車のカギは、確かにここに置いたはずなので、どうしても見当たらない。

ア　「乗ってきた」動作の到達点が、「学校まで」と示されているのに、出発点がないのが誤り。
イ　「確かに」は「置いた」にかかるのに、「置いた」の直前にないのが誤り。
ウ　文の前半と後半とをつなぐ表現が、順接になっているのが誤り。
エ　見当たらなかったのは過去のことなのに、「見当たらない」が過去形でないのが誤り。

第2問　交響楽団の集客について述べた次の文章を読んで、後の問い（問1～問3）に答えなさい。　（30点）

図1　X響定演の魅力（複数回答）

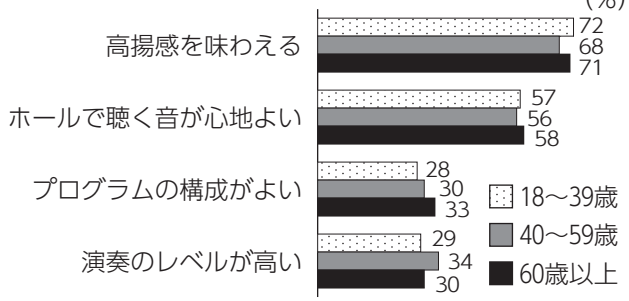
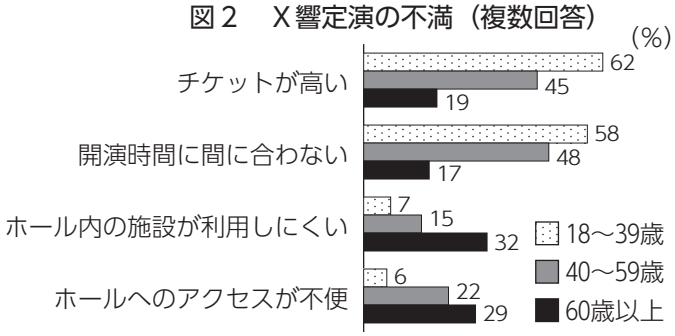


図2　X響定演の不満（複数回答）



X市交響楽団（X響）は、年間一〇回の定期演奏会（定演）を行っている。X響事務局は、集客のための施策を立てるにあたって、各定演で実施している来場者アンケート（昨年度分）を分析した。今回、注目したのは「X響定演に行く頻度は年間一、二回程度」と回答した二五〇名である。これらの人々の来場頻度は高くないが、X響定演に一定の魅力を感じており、今後の伸びしろが大きいと考えられるからである。【段落A】

図1は、X響定演の魅力についての回答を、先述の二五〇名を対象に年代別集計した結果の上位四項目である。「高揚感」「ホールで聴く音」は各年代とも約六割から七割と高いが、「プログラム」「演奏レベル」は三割程度にとどまる。ここから、［　①　］ことがうかがえる。【段落B】

図2は、X響定演への不満を図1と同じ要領で集計したものである。「チケット」「開演時間」は［　②　］である。一方、「ホール内施設」「アクセス」は中年・高年層で高く、特に六〇歳以上の高年層では約三割である。これらより、若年・中年層では経済的負担や仕事や学業との時間のやりくりのむずかしさが、高年層ではホール内施設のバリアフリー対応の遅れや、アクセス手段の不十分さが、不満につながりやすいことがうかがえる。【段落C】

これらから、X響定演は、いわば音楽とじかに触れ合える機会として聴衆に評価されていることがわかる。また、来場者数のアップを図るためには、割引チケットの設定や開演時間繰り下げなどの施策を講じればよい。【段落D】

問1　文中の空欄①に入る内容として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　来場頻度の低い人は、よりポピュラーな曲目をプログラムに求めている
イ　ホールで聴く音の心地よさを評価している人は、定演から高揚感を得ている
ウ　今後のX響の演奏レベル向上については、あまり期待を持たれていない
エ　演奏会の内容よりも、ホールで生演奏を聞くという体験そのものが重視されている

問2　文中の空欄②に入る内容として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　若年・中年層において高く、四〇歳未満では約六割　　イ　若年・中年層において高く、四〇～五九歳でも五割超
ウ　各年代において一割超　　エ　六〇歳以上において約二割

問3　傍線部は、段落Cの結果を踏まえて今後の施策を述べたところです。しかし、内容の上で不十分なところがあります。その説明として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　演奏の内容に関する具体的な施策について、まったく触れられていない。
イ　定演の魅力について、年代別の対応策が考えられていない。
ウ　高年層で不満の多い項目に対する具体策が述べられていない。
エ　若年層で特に不満の多い項目に対する配慮が不足している。

第3問　次の文章を読んで、後の問い（問1～問3）に答えなさい。　（30点）

近ごろ、「マウンティング」や「マウントをとる」のような言葉をよく見聞きする。先日も、あるテレビのクイズ番組で、出演者の一人が対戦相手に向かって「ぼく、子供のころから勉強がよくできたんですよ」と言うのに対して、他の出演者から「マウンティングだ」といったコメントがなされていた。【段落A】

「マウンティング」や「マウントをとる」という言葉は、サルが他のサルの背に乗って自分の優位性を示す動作や、総合格闘技やプロレスで相手に馬乗りになる技のことを言うときに用いられてきた。つまり、優位性を身体的に表す状況に対して使われてきたのである。【段落B】

ところが、近年は、対人関係において、心理的に相手の優位に立とうとする言動も含むようになった。冒頭の例以外にも、たとえば、職場のライバルに向かって、自分がいかに上司に評価されているかを伝えるのもマウンティングの一種だ。上司の覚えがめでたいから早く出世できるのだと示すことで、自分が上だと印象付けようとする行動である。このような、いわば競争の場で［　　］。相手をひるませる効果がある程度は期待できるからだ。【段落C】

しかし、こういった、相手に心理的な圧迫を与え、優位に立とうとする人が本当に強いのかと言えば、私はそうは思わない。マウンティングをする人に対して、哀れささえ感じてしまう。なぜなら、競争相手に対する恐れをマウンティングという行為で解消しようとしているように見えるからだ。大人が幼い子供とゲームをする時、自分はお前より強い、と心理的に圧迫してマウントをとる必要はない。このように、真に優位性がある立場にいるのであれば、心理的なマウンティングなど必要ないはずである。マウンティングは、心の余裕や自信のなさから、負けるかもしれないという恐怖心を抱く時に行われるのだ。マウンティングとは、実は臆病者（おくびょうもの）の弱者が強がっている言動としか思えない。【段落D】

問1　空欄に当てはまる内容として最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　勝つための手段はマウンティングをしないことだ
イ　優位性を示す方法はマウンティング以外にもあるはずだ
ウ　マウンティングをしても意味がないだろう
エ　マウンティングをするのは有効な方略の一つと言える

問2　段落B・C・Dの内容を説明したものとして最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　段落Bは話題となる語の解説を行い、Cは話題に関連する例を示し、Dは筆者の意見と理由を示している。
イ　段落Bは語の辞書的な意味を説明し、Cは筆者の意見を示し、DはCの意見の根拠を示している。
ウ　段落Bは文章の話題を紹介し、CはDで述べる筆者の意見の根拠となる事実を前もって説明している。
エ　段落Bは話題について具体例を示し、Cは筆者の考えを説明し、DはCの説明に補足を加えている。

問3　傍線部のように筆者が考える理由を説明したものとして最も適切なものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

ア　身体的なマウンティングは実際に優位性を示せるが、心理的なマウンティングでは優位性がわからないから。
イ　大人が子供とゲームをする時、マウンティングをしようと考える必要がないから。
ウ　マウンティングで相手に優位性を示しても、その行動は実は臆病者の弱者が強がっている行動だから。
エ　競争相手に対して心理的なマウンティングをしかけようとする人は、哀れささえ感じさせるから。

第4問　次は、フードイベント「ジモショク」を企画した大学生が、協賛してくれた食品メーカーの広報担当者にあてて書いたお礼の手紙です。これを読んで、後の問い（問1・問2）に答えなさい。なお、手紙文では頭語・結語、時候のあいさつなどは省略してあります。（40点）

この度は、「ジモショク」にご協賛してくださり、大変感謝しております。イベントではインスタント食品の「スグゴハン」シリーズをご提供いただき、ありがとうございました。

A

なお、それらの方には貴社のフリーコールをお伝えしています。ふだんは問い合わせなど入らないと思いますので、応対の余裕もおありかと思います。このような反応があったので私たちも大変喜ばしく思っております。本当にありがとうございました。

次年度もジモショクは開催予定ですので、引き続きご支援の程よろしくお願いいたします。

問1　1　文中にある誤字を指摘し、正しい漢字に訂正しなさい。

2　敬語の誤りを指摘し、適切な敬語の形に訂正しなさい。

3　文中には削除した方がよい「失礼な表現」となる一文があります。その最初の三文字を書きなさい。

問2　文中の空欄Aに入る文章を、次のメモ書きの内容を入れて作成しなさい。ただし、後の条件1～4に合わせなさい。

- スグゴハンは昼過ぎには提供してくれた試食品がなくなるほどの大好評だったこと。
- 特にお子様のいる家庭に好評で、購入方法の問い合わせをもらったほどだったこと。
- スグゴハンは初めて紹介する商品で、その良さが伝わるか心配していたこと。

条件1　メモの順序は前後の流れに合うように考えること。

条件2　メモの3文のつながり具合にも注意して、必要ならつなぎの言葉を補うこと。

条件3　メモの表現は手紙の趣旨や内容にふさわしく書き改めること。

条件4　1行25字のマス目に縦書きで、必ず3行以上、5行以内で書くこと。句読点も1字として数える。句読点が行頭にきたときは、前行末欄内または欄外にうってよい。

注意　行数不足または行数超過の場合は採点の対象となりません。

●下書き用

第5問　新年のあいさつは、以前は年賀ハガキなどを用い、ハガキで送るのが一般的でした。しかし、最近はハガキを使わず、メールやメッセージアプリなどで送ることもあります。これについて、「新年のあいさつはハガキで送るのがよい」と「新年のあいさつはメールやメッセージアプリで送るのがよい」という二つの立場のどちらかに立って、論説文を書きなさい。次の条件を守ること。　（70点）

条件1　論説文は、次の順番で四つの段落に分けて書くこと。

第1段落　出来事・体験・知識を述べる。

「新年のあいさつを送る手段」について、あなたの意見を支える出来事・体験・知識を述べる。

第2段落　意見を述べる。

新年のあいさつについて、「ハガキで送るのがよい」か「メールやメッセージアプリで送るのがよい」のどちらか、意見を明確に述べる。

第3段落　意見の根拠を論理的に説明する。

第4段落　第2段落の意見とは異なる意見（例えば、第2段落の意見の欠点を指摘する意見や、第2段落の意見と反対の意見の長所を主張する意見など）をとりあげて、その意見が正しくないことを説明する。

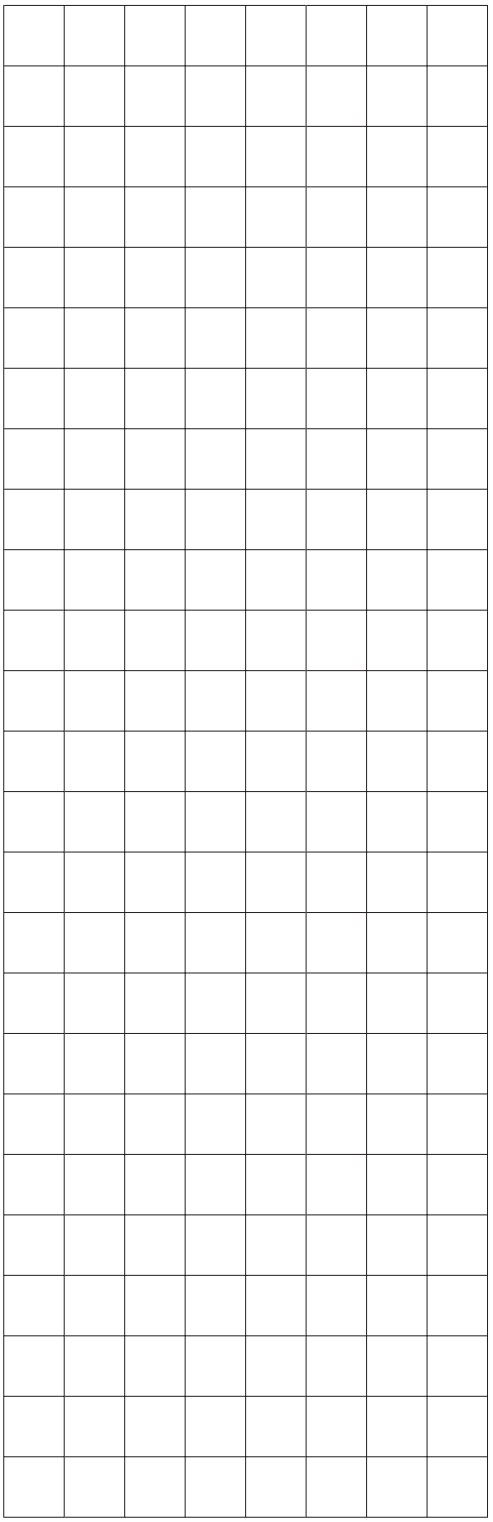
条件2　1行25字のマス目に縦書きで、必ず18行以上、26行以内で書くこと。句読点も1字として数える。句読点が行頭にきたときは、前行末欄内または欄外にうってよい。

注意　行数不足または行数超過の場合は採点の対象となりません。

※次のページに下書き用のマス目があります。

●下書き用

18



26

検定日・検定を行う時間・問題回収などについて公正でないと
思われる点がありましたら、当協会までお知らせください。

電話番号：０１２０－５０９－３１５(無料)
受付時間：月～金　9：00 ～ 17：00
（検定日とその前日の土・日は受け付けています）